

観光創造専攻

平成23年度
後期

日本語論述

13:30～15:30

解答上の注意

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題紙を開いてはならない。
- 2 問題紙は、この紙を含めて2枚である。
- 3 解答用紙(25字×40行=1000字)は、2枚ある。
- 4 解答用紙は、2枚とも必ず提出すること。
- 5 受験番号は、すべての解答用紙の指定された個所に必ず記入すること。
- 6 選択した問題番号は、すべての解答用紙の指定された個所に必ず記入すること。
- 7 解答は、すべて解答用紙の指定された欄に記入すること。
- 8 下書き用紙は別途配布されるが、問題紙の余白を下書きに使用してもさしつかえない。
- 9 問題紙および下書き用紙は持ち帰ること。

平成 23 年度後期入試 日本語論述問題

以下の問題 1～2 のうちから 1 題を選択し、1,600～2,000 字の日本語（横書き）で回答しなさい。なお、適当な位置で改行して段落に分けること。また字数は改行による空白を含めて計算する。

【問題 1】

近年、日本では、「若者の旅行離れ」（若い世代が旅行をしなくなったこと）が指摘されることが多いが、その一方で、こうした言説の是非についても、様々な議論がなされている。現代の日本の若者はかつての若者に比べ、果たして本当に旅行をしなくなったのか、具体的論拠を示しつつ、あなた自身の考えを論じなさい。

【問題 2】

UNDP（国際連合開発計画）によれば、「開発」とは、「人々が各自の可能性を十全に開花させ、それぞれの必要と関心に応じて生産的かつ創造的な人生を開拓できるような環境を創出すること」「人々が価値ある人生を全うできるよう、選択肢を拡大すること」と定義される。

この定義を踏まえ、観光開発とは如何にあるべきか、あなた自身の考えを自由に論じなさい。